



# 手取だより

Catholic Tetori Church Newsletter

第421号

2024年2月号

カトリック手取教会  
編集・発行 広報課  
熊本市中央区上通町3-34  
TEL 096-352-3030

「2月の  
メッセージ」

## 台湾での新司祭叙階式に参加 熱気あふれる典礼と数百名の分かち合いに感動

先月二十日、16時から、台湾高雄市であった、台湾のドミニコ会に所属する山口聖智助祭(昨年十一月に手取教会の主日のミサで助祭としての奉仕・説教をしてくださった方です)の司祭叙階式に参加してきました。会場はドミニコ会が経営する中学校の講堂で、約八百人の参列者で一杯でした。日本からは大阪高松大司教区の酒井補佐司教様、同大司教区松山教会のピーター・ジャ・レ神父(ドミニコ会)、松山教会の信者の方々、そして山口助祭のご両親はじめ親戚・友人の方々があわせて二十数名来られていました。

叙階式は熱気あふれると同時に荘厳な雰囲気の中で行われました。多くの若者がいたのも印象的でした。共同司式の司祭たちにも若い司祭たちが多数いました。司祭受階者は山口助祭ともう一人の台湾原住民出身の方でしたので、その伝統衣装を身につけた多くの参加者がいて、式の所々で彼らの歌や踊りが式を盛り上げていました。特に奉納行列では、その民族の若者たちの歌や踊りとともにパンとぶどう酒をはじめ多くの供え物が捧げられ、喜びに満ちた感謝の祭儀の始まりとして素晴らしい典礼でした。また、信者が唱えるミサの祈りの声は大きく、力ある声で会場に響き渡って

おり、それがミサの雰囲気を喜びに満ちたものとしていて、最近手取教会では祈りの声が小さいなと感じていたわたしにとっては、やはり大きな声で祈りを唱えることの大事さをあらためて感じました。

式の終わりに、新司祭二人がそれぞれあいさつされました。山口神父様は記念のカードに記された「恩寵は人間の本性を破壊せず、かえってそれを完成させる」という、ドミニコ会の大神学者聖トマス・アクィナスのことばを紹介して、「神の恵みはわたしたち人間をおかしくしてしまうのではなく、わたしたちを養い、成長させて、幸せに導いてくれる。そのためにイエスは人となってわたしたちのもとに来て、神の愛を示してください。わたしはその愛を信じています。だから、わたしはそのことをすべての人に伝えるために働きたい」と、決意を力強く述べられました。

叙階式後、学校の屋根付きの校庭で祝賀会が催されました。数百名全員が着席し、食事を共にし、新司祭誕生の喜びを分かち合いました。出てくる食事の豪華さ、おいしさに驚きましたが、もっと驚いたのは延々と続く余興でした。二時間近く次から次に若者からご年配の方々の踊りや歌の出し物が続き、新司祭の誕生を心から喜んで



でいらつしやる姿が印象的でした。最後には、出演者の踊りに会場から次々にたくさんの方が加わり、大騒ぎでした。これには日本からの参加者も新司祭のご両親をはじめ親族の方々、松山教会の方々も加わっておられました。集まる教会の喜びを感じた時間でした。

山口神父様は、三月三日に手取教会で初ミサをささげてくださる予定です。これには、ご両親、ご親族、友人、また台湾からの司祭や信徒、あわせて百名近くの方々が来てくださいます。山口神父様のご親族の多くは熊本にいらつしやるようで、台湾まで行くことができなかつたご親族も、手取教会での初ミサを楽しみにしてください。手取教会として、この喜びの出来事のお手伝いができればと思っています。いろいろなご面倒をおかけするかもしれませんが、よろしくお願ひします。

(主任司祭 櫻井尚明)

# 2024年1月の役員会だよ

信徒役員会が1月13日に開催されましたので概要をお知らせします。なお、議題等に関しては役員会だよりが発行される時期には終了しているものがあります。審議等の関係で掲載していることをご了承下さい。

## (協議事項等)

- (1) クリスマス献金の送金先について
- (2) 役員改選について
- (3) 2024年度の予算要求について
- (4) 花岡山殉教地の清掃作業について
- (5) 今後の予定について
- (6) その他

- ① 山口司祭叙階記念初ミサの交流会について
- ② テゼの祈りについて
- ③ 熊本城マラソン2024

- (報告事項)
- ① 各地区からの報告
- ② 各部会等からの報告

## 協議事項

### (1) クリスマス献金の送付先について

クリスマス献金は、中高生会のクリスマスマーケットの献金と合わせて41万円となりました。この送金先について協議が行われ、次のように送金することが決定しました。

◎チャド＝30万円(シヨファイユの幼きイエズス修道会)、◎ベトナム人支援活動のための修道会への資金援助＝11万円

### (2) 役員改選について

令和6年で改選となる役員「広報部・会計監査・葬儀委員長・白曜学校代表・会計・庶務・宣教司牧評議会委員・A地区・C地区・D地区・E地区・F地区」の役員の一部が改選時期となることから、変更がある場合は信徒会長まで連絡をお願いするようになります。

### (3) 2024年度の予算要求について

新年度において予算要求が必要な事項がある場合は、2月25日まで事務室へ要求書の提出をお願いすることとなった。なお、継続しての予算要求がある場合に同様な取扱いすることが確認された。

### (4) 花岡山殉教地の清掃作業について

1月20日の定期清掃作業への協力依頼が提案されました。複数名の方に作業支援をお願いすることとなりました。

### (5) 今後の予定について

- ① 四旬節等の予定
- 黙想会＝2月23日～24日昼の部・夜の部。
- 復活祭予定
- ・ 2月14日(水)＝灰の水曜日(午後2時、午後7時)
- ・ 2月18日(日)＝四旬節第一主日
- ・ 3月24日(日)＝受難の主日(枝の主日)
- ・ 3月28日(木)＝聖木曜日(午後7時～)
- ・ 3月29日(金)＝聖金曜日(午後3時～)
- ・ 3月30日(土)＝聖土曜日、復活徹夜祭＝3月30日
- ・ 3月31日(日)＝復活の主日(ミサは10時のみ)

### (6) その他について

- ① 山口聖智(まさとも)氏叙階記念初ミサでの交流会について
- 山口聖智助祭の司祭叙階式が1月20日に台湾で行われますが、日本での初ミサが手取教会で行われます。手取教会での初ミサに際して台湾から70名、国内から30名、百名程度の方がお祝いに来熊されます。その際に手取教会の信徒との交流会が計画されています。信徒会館で軽食によるパーティ形式の交流会が開催されます。是非とも、交流会に多くの手取教会信徒の皆さんのご参加をお願いいたします。

○3月31日の復活祭ミサ(10時ミサのみ)の終了後に、信徒会館ホールにて四年ぶりのパーティが開催されます。この四年間実施できなかった「洗礼・初聖体・堅信・転入者等」の方をまとめてお祝いすることとなります。皆様是非ともご参加下さい。

## 【報告事項】

### 【報告事項】

#### 【事務室から】

- 巡礼団の訪問について
- ・ 2月20日(火)に韓国から30名程度の訪問があります。
- 和室の利用について
- ・ 和室等を利用する際に他の場所から机などを移動した場合は、必ず元の場所に返して下さい。和室への持込があり、返却されないままの状態がありました。※皆さんのご協力をお願いします。
- 教会敷地内での喫煙について
- ・ 教会敷地内では「禁煙」となっていますが、敷地内に大量のタバコの吸い殻の廃棄がありました。信徒の方の廃棄ではないと思われませんが、皆様のご理解とご協力をお願いします。

2月13日・14日に日本基督教団草葉町教会との合同企画として「テゼの祈り」が実施されます。この企画は、年末に実施されたプロテストントとの合同の市中キャラリングの際に検討されたもので、青年会が中心となって実施されるものです。

【テゼの祈り】の企画について  
テゼ(フランスの村の色の祈りは、フランスのテゼ共同体が始まった祈りで、カトリック、プロテストントといった教派の違いにかかわらず、誰でも参加できる祈りの場です。その特徴は、単純素朴な美しい歌と、沈黙の祈りです。  
歌は、歌っているうちに覚えてしまう短く単純なものです。  
③ 熊本城マラソン2024について  
2月18日(日)に熊本城マラソンが開催されますが、当日は教会前の通町が午前7時～10時まで交通規制が行われるためにミサは11時ミサのみとなりました。

文責 庶務担当 城川康博

## 神の母聖マリアのミサで 新成人を祝う

1 / 1

元日は「神の母聖マリア」の祝日で「世界平和の日」でもある。新しい年を迎え、主任司祭から、聖マリアの生き方に倣って生きるとともに、世界が平和になるよう祈りましょうと挨拶があった。説教では、神の子の母となられた聖マリアが神の子をこの世に産み出したように、わたしたちも神の子として生き、また神の子を生み出す教会の一員として生きることによって、平和の道具となるようにしようと話した。ミサの終わりに、成人を迎える帰省中の岩元朋洋さんに祝福を与えると、若者らしく抱負を語った。(〇)



## 日曜学校の終業式と 始業式

12 / 17 1 / 17

12月17日(日)二学期の終業式で櫻井神父が話された。なぜクリスマスを祝うのでしょうか。イエスは神様ですが、同じ人間になって生まれてくださいました。神様が人となられたことをお祝いする日です。イエス様を通して神様をよくわかるようになりましょう。貧しい人、病気の人が、困っている人のために祈りましょう…。クリスマスは神様に来てください。特に24、25日は喧嘩しないで仲良くしてください。プレゼントは喧嘩をしないで仲良くする心を表しています…。横山リーダーが二学期で楽しかったことなどを一人一人に聞き、三つの約束を確認した。



## 二学期の始業式で 金神父叙階10周年のお祝いを渡した

1月14日(日)9時ミサ後に日曜学校二学期の始業式が行われた。指導司祭の金神父が二枚の紙を渡し、一枚には昨年感謝する事、二枚目には今年に向けての願いを書くようにと指示があった。分かち合いでは「昨年は世界では紛争で亡くなる人が沢山いたが今年は平和になってほしい…」と小学生ながら時事問題への関心から祈る姿があった。皆で叙階10周年を迎えた金神父にお祝いを渡した。(〇)



クリスマスの三日間

12 / 23・24・25

12月23日(土)18時の待降節第四主日ミサ後に、クリスマス・マーケットを開店。気温は4℃で一時小雪が舞った。ビーフシチュー、コーンスープ、ホットコーヒー、ホットワイン、ジュースと綿菓子にポップコーン、新しくキャラメルコーンが加わった。五島うどんや聖具の販売も…。教会入口ではサンタの帽子をかぶった若者がチラシを配り街行く人にもクリスマス気分を味わってもらった。中高生たちは昨年の成功体験を土台に12月17日(日)11時ミサ後に今年の計画書に基づく三日間の役割分担を決めていた。



ミサ後にX'mas Marketを案内



街行く人にX'mas Marketのビラを

クリスマス・マーケット開店

そして深夜ミサへ

12月24日(日)9時ミサはまだ待降節第四主日。ミサ後に中高生たちによるクリスマス・マーケットを開店。前日夜には出さなかった温かい「五島うどん」もメニューに加わり、テント横ではミサを終えた櫻井神父が沸騰する鍋でうどん玉を湯がき器に盛っていた。11時ミサ後の方が昼に近く売れ行きは上々…。

気温も少し和らぎ、クリスマスミサの準備が進んだ。19時、暗い聖堂ではベトレヘムの出来事のパレーションが始まり、星を先頭に日曜学校の子どもたちの行列が入って来た。幼子を抱いたマリアと博士たちが内陣前で整列してから馬小屋の飼葉桶に幼子を寝かせた。子どもたちが退堂すると聖歌隊の歌声の中、司祭と奉仕者たちが入堂。主任司祭



が馬小屋のイエスの前に進み献香。こうして降誕祭のミサが始まった。共同祈願では各グループ代表の祈願に添えて皆で祈った。ミサの終わりに、中高生会代表が「温かいものとお菓子などを信徒会館エントランスに用意しています。無料ですが、お気持ちの寄付と中高生の活動のための寄付をお願いします」とクリスマス・マーケットに誘った。司祭と奉仕者たちが退堂すると祭壇奥からサンタクロースが登場！子どもたち一人一人にプレゼントを渡した。多くの方が信徒会館に寄り、温かい飲み物コーナーには行列ができて、2つの寄付箱には音のしないお金を入れる大人たちがいた。早朝からの行事がようやく終了。0時ミサも行われた。





聖歌隊の皆さん



出来立ての五島うどん



子どもたちの行列



ミサ後に温かい飲み物を

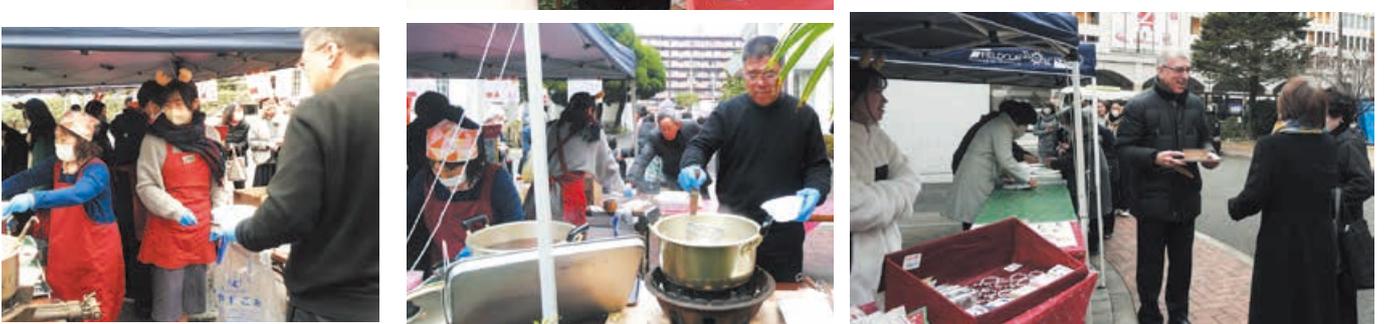


### アベイヤ司教を迎えて

12月25日(月)10時の降誕祭ミサに福岡教区長のアベイヤ司教様を迎えた。聖堂に入りきれない方は信徒会館マリアヨゼフの部屋のLIVE中継でミサに与った。司教様の説教ではヨハネ福音に関連し、…神から遣わされた人(キリスト)、この方が私たちに見えなかった神を示された。恵みと真理はイエス・キリストを通して現れた。イザヤ書では、民族・文化を超えて地の果てまで、すべての人が神の救いを仰ぐと書かれている…など主の降誕の意味を話された。なかなか教会に来ることができないお年寄りも車椅子で来られ、司教様から聖体を拝領した。

三日間は天候に恵まれ、クリスマス・マーケット最終日も盛り上がった。アベイヤ司教様もチケットを買い列に並ばれ「五島うどん」など召し上がった。街行く人も入って来て準備していたメニューがほぼ完売した。(〇)





12月26日(火)午後から熊本地区宣教司牧評  
議会主催の「子どもたちのクリスマス・キャンプ」  
が始まった。13時受付開始、参加者は子どもたち  
と保護者、中高生のリーダーとスタッフ、各小教  
区の司祭たちの合計60名。午後一時半「始めの  
祈り」で開始。城川さんの司会でオリエンテー  
ションと参加者の自己紹介。トゥルコ神父(島崎  
教会)の聖歌指導に続いて櫻井神父がテーマ「ク  
リスマス」について導入の話をした。  
14時にDVD「ナザレのイエス」の前編を鑑  
賞。15時からシルバノ神父(菊池教会)による解  
説。キーワードは、ザカリヤ、マリア、エリザベ  
ト。キリストの誕生について福音書ではルカとマ  
タイだけに書かれている。聖書は神の言葉。神の

子どもたちのクリスマス・キャンプ  
テーマは「クリスマス」 12/26〜27



使いの天使が現れて神の言葉を伝える。ザカリヤは神殿に仕える者だったが、年取った妻に子ができることを信じなかったため声が出なくなつた。マリヤは天使を通じた神の声を聞き、「この身に成りますように」と受け入れた。マリヤが百キロ離れた従姉妹のエリザベトを訪問すると六ヶ月になるおなかの子が喜び踊り、イエスの母となるマリヤを讃える。マリヤはヨゼフと結婚する前に聖霊によって身ごもる。疑ったヨゼフに「恐れるな」と天使の声が聞こえる。ザカリヤは生まれた子の名前をヨハネとすると声が出るようになる。ローマ皇帝の勅令による人口調査があり、生まれ故郷で登録しなければならず、ヨゼフは臨月のマリヤを連れてベトレヘムに向かう。泊めてくれる宿がなく家畜小屋で幼子を生む。大きな星を見て知らせを受けた羊飼いたちが祝いに駆け付ける。ヘロデ王は占星術の博士から星のもとにイスラエルの王が誕生することを知られる。ザカリヤとはアラム語で「神様が私の事を思い出した」だが始めは頑固で信じなかった。マリヤは「神から愛される者」、エリザベトは「完全な方」で積極的に神を信じた。

15分休憩してから後編を鑑賞。イエス誕生の八日目に神殿を訪れ、ダビデの時代からの割礼を受ける。東方の三人の博士たちが家畜小屋に来て乳香、没薬、黄金を贈る。博士たちがヘロデ

王に報告しないで帰ると、激怒したヘロデは二歳以下の子の殺害を命じる。泣き叫ぶ母親たちと天使の声でエジプトに逃れたヨゼフたち…。

解説は聖堂で平田神父(武蔵ヶ丘教会)から。どこへ逃れたのか…、ヘロデの死を聞き、どこへ戻ったのか…と子どもたちに質問しながら聖書の場面を説明した。聖堂での「歌を歌おう」の間に、スタッフがホールを夕食会場に模様替え。六人掛け七ブロックにテーブルをセット。調理の応援スタッフが朝から準備して作ったメニューをバイキング形式に並べ、苺ツリーなどデザートは正面の机に…。子どもたちが聖堂から戻り18時から夕食。「食前の祈り」を唱えてから、一列に並ぶ大皿から好きなものを取り、各テーブルで六人揃うと食事を開始。デザートのお菓子は小さな子どもたち優先とした。食事は沢山食べても余るほど用意されていた。

食事を終えて子どもたちが一旦退場するとホールをレクリエーション会場に模様替え。3つのグループをさらに3つに分けて球転がしに挑戦。1点から10点まである穴に球を転がす。一時間ほど楽しみ、得点よって順位をつけ賞品を渡した。最高点は90点超えも出た。

20時半から聖堂で「夕の祈り」。クリスマスの歌を沢山歌い、浦川神父(本渡・大江・崎津教会)から「戦闘が続いているウクライナ・ロシア、パレ

スチナイイスラエルに和解と平和が来るように、今日一日を無事に終えたことに感謝、いろいろ準備してくださった方たちに感謝…」と祈った。21時にホールに戻ると寝床に模様替えしており、寝袋とマットで寝支度。和室なども活用して22時までに就寝、一日目が終わった。



受付開始



オリエンテーション





26日、鶴屋のサンタは消えていた



シルバノ神父のお話



WYD参加の  
大水あかりさんも参加



平田神父のお話



夕食を待つ子どもたち



調理の皆さんに感謝





レクリエーションの時間



聖堂で「夕の祈り」を

**二日目は7時起床**

7時半から聖堂で「朝の祈り」。寝床が食堂に代わり8時から朝食。数種類のパンにスープ、サラダにバナナなど…。9時から手塚治虫作の「旧約聖書物語」のDVD鑑賞。一日目と同じ内容だがアニメで理解しやすかっただろう。櫻井神



寝袋で寝支度



父がクリスマス・キャンプのテーマ「クリスマスからの話」をまとめた話をした。

クリスマスの意味は…、イベントの目ですか。25日昼頃になると街ではクリスマスの飾りを片付けてしまいます。皆さんは神様の子が生まれたというメッセージを受け取ることができるとしよう。聖書は神様の言葉です。神様は誰かを使って伝えようとします。お父さん、お母さんにとって皆さんは命に代えてでも守りたい特別な人です。父なる神様も皆さんと同じような特別なおんひとりを赤ちゃんの姿で私たちにくださいました。神様の思いが聖書の中にあります。ヘロデ王は占星術の学者が言う星を見るために明かり消したが見えなかった。見たくなかったのでしょうか。私たちは信仰の導きで見ることがができます…。

休憩してから10時15分に聖堂に集まり聖歌を歌った。侍者と聖書朗読者を募り11時から七人の神父による合同ミサ。平日のミサでもあり一般信者も加わった。浦川神父の説教では、二日間のクリスマス・キャンプをやり遂げることができたことに対して神様に感謝、時間をかけて準備してくださった中高生のリーダーたち、スタッフ、食事を用意してくださった方々への感謝を特に強調された。

12時からホールでの昼食はカレー中心のメニュー。キャンプのために一ノ瀬神父(長崎教区)が作ってくださった16頁の「祈りのしおり」に仕上げがあった。青・黄・ピンクの冊子で、一

色だけ、三色のものに賞品がもらえた。調理スタッフからのカード、さらに全員へのプレゼントもあった。最後に櫻井神父が「次は二泊三日のサマーキャンプです。また来てください」とつながりをつなげる呼びかけで終了した。今回は熊本県下だけでなく福岡から大名町教会、南粕谷教会、笹丘教会、長崎から黒島教会、またWYDリスボン大会に参加した大水あかりさん(武蔵ヶ丘教会)もリーダーとして参加された。(〇)

**【参加者内訳:  
総合計60名】**

小	教	区	小・中	リーダー	スタッフ	司祭
帯	山		5		2	1
菊	池					1
健	軍				1	
島	崎					1
崎	津					1
手	取		11	3	10	1
武	蔵	ヶ	4	5		1
大	名	町	1	1		
南	粕	谷	1			
笹	丘		3	1		
黒	島		3	2		1
	計		28	12	13	7

- \*小・中:年長組1名含む
- \*リーダー:高校・大学生・保護者も含む
- \*スタッフ:調理応援者も含む



櫻井神父が  
まとめた  
お話を



朝食も盛り沢山



浦川神父の説教で皆に感謝を…



聖書朗読は平井愛美さん  
(南粕谷教会)



左から櫻井神父、シルパノ神父、  
山添神父、浦川神父、金神父、平田神父



終わりの挨拶を



黒島教会の山添神父が挨拶



「祈りのしおり」に仕掛けが



聖堂内の馬小屋の片付け

クリスマス飾りなどを片付けた

1月7日(日)「主の公現」の日。ミサの終わりに主任司祭から「能登半島で大きな地震がありました。熊本地震や豪雨災害で各地から義援金をいただいたことを忘れず、能登半島地震緊急支援募金を」と声掛けがあり「能登半島地震緊急支援募金(一月末まで)」を行った。この日で待降節から始まった一連のクリスマスに関わる行事が終わり、午後一時からヨゼフ会とマリア会の有志で、聖堂のイルミネーションの取り外し、聖堂内では馬小屋の片付けを行った。風が吹いて少し寒かったが雨にも雪にもならず四時前に終わることができた。(〇)



元に戻ったマリア庭園



第二日曜日の1月14日にはベトナム共同体のミサがあり、クリスマスのために設置した馬小屋の撤去作業を行い、ミサが終わってからシスタービッチャンが慰労会を開いた。(〇)

## フィリピンからの

## 巡礼団約60名を迎えた

1 / 12



1月12日(金)午後二時にバス二台で来られたフィリピンからの巡礼団約60名を迎えた。手取所属のフィリピンの信徒も出迎え、再会を懐かしむ方もいた。一行はフィリピン国内だけでなくアメリカでビジネスをしている人などがマニラに集結し福岡空港から長崎、雲仙を経て熊本の手取教会に來られた。福岡古賀教会のベルナルド神父(フィリピン人)が随行司祭となってミサを立てた。お茶を差し上げ歓談してから皆で送った。城彩苑で休んでから新幹線で鹿児島へ。宮崎経由阿蘇に宿泊。別府で地獄めぐりなどとして福岡から帰国するとのこと。(〇)



## 熊本地区レジオ・マリエのアチエスを開催

1月20日(土)熊本地区レジオ・マリエのアチエスが4年ぶりに開催され熊本地区3教会(帯山・健軍・手取)から26名が参加。渡辺神父(健軍)の指導のもと奉献式と新しく迎える4名の活動会員(帯山教会)の誓約式も行われた。終了後ホールで分かち合いの食事会を行った。(〇)



## 金神父叙階10周年を祝う

1月14日(日)9時ミサは金神父の司式。皆で叙階10周年をお祝いし信徒代表からお祝いを差し上げた。

## 編集後記

2月号はクリスマス以降の盛沢山の行事の報告となった。中高生会の呼び掛けに応じてアベイヤ司教様が来られたが、2024年度の司教年頭メッセージの「互いに支え合う交じわりの教会」を先行して実践してきた記録でもある。新しい年が周辺だけでなく海外の巡礼団を迎えたり、「開かれ、迎え、出向く」教会であれば…と願う。教会はいつも皆様と共にある共同体です。皆様からのご意見などをお待ちしています。Eメールまたは電話にてご連絡ください。(編集長:小野豊和toyokazuono@gmail.com/090-5553-3234)